

# 【家庭科・小6・「まかせてね 今日の食事」】①

## 育成を目指す資質・能力

(知識及び技能) 献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解する。

(思考力、判断力、表現力等) 1食分の献立の栄養のバランスについて問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

(学びに向かう力、人間性等) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

## ICT活用のポイント

「欠席児童の双方向オンライン学習」と「蓄積した既習事項の活用」と「個々の実態に応じた多様な資料の活用」

## 事例の概要

【本時のめあてをつかむ】

既習事項を確認し、献立作りのポイントを押さえる。

栄養バランスのよい  
1食分の献立を立てよう。

【調理計画を立てる】

- ①グループで調理計画を立てる。
- ②全体で意見交流を行う。
- ③グループで改善・修正する。

【本時の振り返りをする】

本時の振り返りを行い、新たに気付いたことや工夫したこと等をまとめる。

【事例におけるICT活用の場面①】

○ウェブ会議ソフトを活用して、欠席児童は、オンラインで授業に参加する。

○既習事項をICT端末に蓄積しておき、必要に応じて確認する。

○習得した知識や技能を活用したり、生活経験と関連付けたりして、栄養のバランスを考慮した1食分の献立について検討を行う。

【事例におけるICT活用の場面②】

○ICT端末に蓄積されている既習事項や教科書、紙ベースの調理実習計画表等を必要に応じて選択し、活用する。【②-1】

○詳しく知りたいことは、ウェブブラウザを活用し、調べる。【②-2】

○表計算ソフトで作成した振り返りシートに入力し、提出する。

# 【家庭科・小6・まかせてね 今日の食事】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】

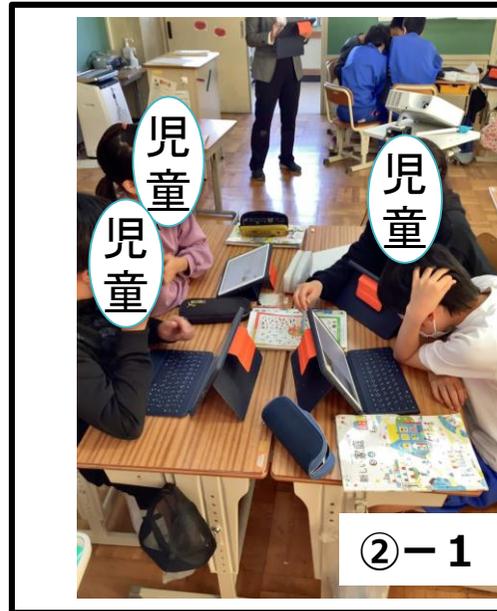


欠席児童は、ウェブ会議ソフトを活用して、リアルタイムで双方向のやりとりを行い、調理実習の計画作りに参加することができた。

欠席児童は、自宅から、教室にいる児童と顔を合わせ、疑問点をすぐに質問したり、話し合ったりすることができた。

ワークシートは、ウェブ会議ソフトを活用し、グループ内で共有できた。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



②-1

②-1 グループで献立を作成する際、I C T 端末に蓄積された既習事項のデータ【給食の献立表とその画像、児童が家庭で調理した主菜・副菜の画像、学校栄養士の食育指導動画等】をいつでも確認することができ、それ以外にも教科書（食品分類表等）や紙ベースの調理実習計画表等を必要に応じて選択し、献立を構成する要素に着目することができた。



②-2

②-2 教科書を参考にして副菜を決定する過程で、さらに詳しく調べたいことは、必要に応じてウェブブラウザを活用し、食品に含まれる栄養素を確認し、栄養バランスを考慮した主菜との組み合わせに改善することができた。

【活用したソフトや機能】 ウェブ会議ソフト、ウェブブラウザ、表計算ソフト